

事業名	指 標	指標の入手手段	外部条件
<p>上位目標 あるべき姿</p> <p>未来を担う子どもたちが、先人の努力の積み重ねによって創られた「めむろ」の歴史や文化、自然など貴重な財産を受け継ぐ（自治基本条例前文より）</p>			<p>・議会基本条例、「議会報告と町民との意見交換会」実施規定」のいずれにも該当しない</p> <p>・「あるべき姿」が自治基本条例前文であり、事業実施の根拠がみあたらない</p>
<p>事業目標（本来1つ）</p> <p>これを実現すれば「上位目標」の達成につながる</p> <p>若者が町とまちづくりに関心を持つ</p>	<p>・芽室町のまちづくりに参加したい生徒数</p> <p>「地方自治の担い手」となる意識醸成には至っておらず、事業目標の達成はできなかった</p>	<p>アンケート調査（事前・事後）</p> <p>「まちづくりに参加したい」12%→29%</p> <p>事業実施後は若干増加したが、3割に満たない。 出身地のまちづくりへの参加もほぼ横ばい。</p>	<p>・事業目的が「若い世代の考えを政策に反映」から「まちづくりに関心をもつ」に変更になった</p>
<p>成果（本来3～5項目）</p> <p>活動により達成される中間目標。「事業目標」の達成につながる</p> <p>●芽室町に関心を持つ ●議会・議員に関心を持つ ●行政・職員に関心を持つ</p>	<p>・芽室町に関心がある生徒数 ・議員を将来の選択肢とする生徒数 ・行政職員を将来の選択肢とする生徒数</p> <p>生徒の意識に影響を及ぼす成果は得られなかった</p>	<p>アンケート調査（事前・事後）</p> <p>「関心がある」42%→57% 「議員を目指す」0.9%→3% 「行政職員を目指す」4.4%→3%</p>	<p>「学校法人白樺学園白樺学園高等学校と芽室町議会の包括連携協定書」に改廃がない</p>
<p>活動</p> <p>これを実現すれば「成果」が得られる</p> <p>・議員とディスカッションする ・身近な存在から行政の体験談を聞く</p>	<p>◆投入</p> <p>◇議会 ・全議員 ・事務局（資料作成等含む） ◇町 ・職員（白樺高校出身者・資料作成等含む）</p> <p>基調講演とWSの連動は、期待した効果を得るまでには至らなかった</p>	<p>◆投入</p> <p>◇白樺高校 ・生徒（3年生） ・担当教員（資料作成等含む） ・学校施設（教室等） ・授業時間</p>	<p>白樺学園高校の協力が得られる 町の協力が得られる （前提条件）包括連携協定の目的合致</p> <p>個別意見はあるものの、相対的にみて事業によって「あるべき姿」への変化をもたらすことができなかった。上位目標、事業目的の明確化、より効果的な活動、投入する資源のあり方、いずれも再構築する必要がある。</p>